

## 参考③ 参考資料

**「大阪市 各事業所実施版」**の基である

**「KUG（企業内滞留版）Ver.3.0.1 新型コロナウイルス対応版（内陸ver.）」**（東京大学廣井研究室、SOMPOリスクマネジメント株式会社）

における関連資料は以下のとおりです。

# ●KUG (企業内滞留版) について

## 【本ゲームについて】

- KUGとは、「帰宅困難者支援施設運営ゲーム」の略称で、不特定多数の帰宅困難者の受入を行う場合に、周到な準備の必要な実動訓練を行わなくとも、施設設置の是非や運営方法、運営において発生する課題について施設運営を机上で疑似体験し、帰宅困難者問題に対する理解を深めて頂くことを目的に、東京大学(当時は名古屋大学)の廣井先生を中心に開発されたツールです。
- 災害直後の地域の混乱の抑制においては、一時滞在施設による帰宅困難者の受入のみではなく、各企業・団体が自社の役職員を事業所内に滞留させることが重要です。
- 本ゲームは、帰宅困難者支援施設運営ゲームをもとに、事業所の方々が、企業内に役職員を滞留させるにあたり、なぜ様々な対策が必要であるのかを理解し、また課題や検討事項等について、より明確なイメージをもって議論を行って頂くことを意図して開発されました。

# ●KUG (企業内滞留版) について

## 【一斉帰宅抑制の意義】

### □ 公共交通機関のマヒ ⇒ 交通渋滞の発生

あらゆる災害対応の妨げとなる

消防車

救急車

津波・火災からの避難

道路啓開・ライフライン復旧作業

工事車両・重機・電源車両等の移動 etc.



東日本大震災当日の品川駅付近の道路  
東京都「東京都帰宅困難者対策ハンドブック」より

### □ 数多くの帰宅困難者が街道にあふれる

人々がドミノ倒しとなり(群衆雪崩)、死傷する危険性

落下物等が落ちてきても、逃げられない

「密」が発生し、感染リスクが高まる

### □ 災害対応を阻害しないこと & 従業員の安全確保のためには、「むやみに移動を開始させない」(家族による発災直後の車でのお迎えも避ける)ことが重要

# <参考>一斉帰宅抑制の必要性

## 東日本大震災当日夜の新宿付近の状況



2011年東日本大震災（新宿駅周辺）  
2011年3月11日 S O M P O リスクアマネジメント(株)撮影



2011年東日本大震災（新宿駅周辺）  
2011年3月11日 S O M P O リスクアマネジメント(株)撮影



2011年東日本大震災（新宿駅周辺）  
2011年3月11日 S O M P O リスクアマネジメント(株)撮影